

ふるさと わがまち わが地域
弥栄町 井辺地区



公民館：京丹後市弥栄町井辺806番地の1



井辺地区のようす
竹野川西岸の山麓、鳥取の北にある小さな集落。
世帯数 47世帯、 人口 142人（令和2年11月末現在）
近世の井辺村は江戸期～明治22年の村名。宮津藩領であった。
田んぼの中に全長21.5m、後円部高0.7mの桑田2号墳が完存しているが、未調査である。

参考資料 丹後の地名 地理・歴史資料集

井辺の風景



天王山長福寺 曹洞宗

山門を下った所に小さな御影石の碑が立っているが、この辺りに井戸があった。大事な井戸で、この井戸水でほとんどの家が炊事、洗濯など一切をしていた。夏でも冬でも桶に水を汲んで家に運んでいた。



長福寺

井戸の碑

穂曹長神社

境内に円墳を中心とした古墳群が完存





井辺団地 造成 S62年～H元年



サロン活動

子供から高齢者も関わり、田植え、稲刈り、餅つきを通して交流事業を行っています。



古くから全戸が農業を営んでいた地区。米をはじめ果樹栽培や、果菜類の育苗を大規模に手がける農家もありました。
時代の変化とともに、農業以外の仕事に従事する人も増えてきました。

井辺大神楽 (10月)

全国的にコレラが流行した明治10年、当時の弥栄では疫病退散を祈願するため、若者を中心に峰山の須賀神社に奉納している神楽を出稽古し、習得しました。

翌年の秋祭りから神社に奉納するようになり、今日では宵宮夕刻より翌午前中にかけて全戸・在家廻りをおこないます。

参考文献 京都府弥栄町 新たなる旅立ち

近年、人口も減り大人だけではできなくなり子供たちに笛を吹く協力もしてもらっています。

